

にしだ昭二 県政通信



2013
初春号

竹縄親方襲名披露で
栃乃洋関に缺入れをする
西田昭二県議
(両国国技館にて)



皆さん新年明けまして
おめでとうございます

県議会議員の西田昭二です。
 昨年の師走は、突然の解散で日本中
 が選挙一色でありましたが、結局は
 自・公の圧勝で終わった選挙でありま
 した。前政権の評価が招いた結果と
 はいえ、今後は、大勝におごらず、
 目先にとらわれることなく、まだま
 だ厳しい不況状態を脱するための経
 済政策を一刻も早く打ち出し、先を
 見据えた政治の舵取りを期待するこ
 ろであります。七尾市においても、
 不嶋新市長が就任したわけでありま
 すが、前任の武元前市長に引き続き、
 全力を挙げて県政の『パイプ役』と
 して不嶋市政を支えて参りたいと思
 いますので、よろしくお願いいたし
 ます。

石川県議会議員 西田昭二(2期 43歳)

県議会での主な略歴

H19年 県議会 厚生環境常任委員会
 " 交通・交流・世界遺産特別委員会
 H20年 " 〇土木企業常任委員会
 " 地域防災・活性化特別委員会
 H21年 " 〇総務企画常任委員会
 " 循環型社会形成特別委員会
 H22年 " 〇文教公安常任委員会
 " 地域経済・雇用対策特別委員会
 H23年 " 〇厚生文教常任委員会
 " 〇新幹線対策特別委員会【現】
 H24年 " 〇環境農林建設常任委員会【現】
 " 〇決算審査特別委員会【現】

◎は委員長 ○は副委員長

プロフィール

- ・1969年七尾市石崎町生まれ
- ・七尾商業高校、愛知学院大学商学部卒
- ・卒業後、地元七尾出身瓦力代議士の
秘書として10年間経験
- ・2001年10月七尾市議会議員選挙にて
32歳で初当選(通算3期)
- ・2007年4月石川県議会議員選挙にて
37歳で初当選(現在2期目)
- ・教員免許取得
- 【家族構成】妻・二女(小3、小5)

～にしだ昭二事務所～

〒926-0173 七尾市石崎町ソ部5
 TEL & FAX 0767-62-2525
 MAIL nanaopolicy@yahoo.co.jp

初心を忘れることなく！ 9月議会一般質問・12月一般質問

県議会初当選から12月議会で23回の県議会定例会が行われ、これまで初回からずっと一般質問や委員会での質問を続けています。細かな質問もありましたが『地元七尾を大切に』との思いであり県議会議員として県との『つなぎ役』に徹する思いは今も変わりません。以下は、9月議会一般質問及び12月議会一般質問での私の質問と執行部の答弁の趣旨です。

本県の新たな応援体制について 【平成24年9月議会にて】

《質問趣旨》 ロンドンオリンピックでの松本馨選手の活躍は、県のジュニア選手への取組みの成果と思うが、今後の発掘・指導・育成について県体育協会会長でもある知事の思いを聞く。



七尾市、ロンドン五輪柔道女子57kg級で、金メダルを獲得した松本選手。7月4日、ロンドンで、金メダルを手に、笑顔を見せる松本選手。7月4日、ロンドンで、金メダルを手に、笑顔を見せる松本選手。

3 ロンドン五輪柔道 金沢出身・松本が金

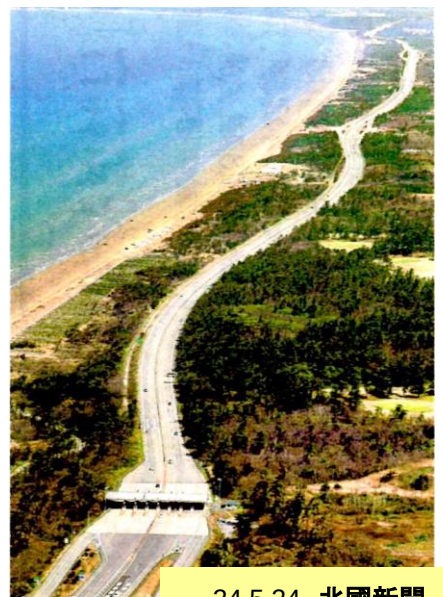
《知事答弁》 県体育協会ではこれまでも競技力向上の基本方針に国際大会で活躍できる選手の育成を掲げており強化に取り組んできている。ジュニア期からの一貫指導体制を充実、科学的トレーニングの推進、指導者の養成に努めていきたい。松本選手が金メダル獲得後、帰られた際に県民栄誉賞を贈ったことなどが全国放送され石川の名を大いに高めていただいた。県出身の選手皆さんのさまざまな活躍が石川のPRにつながると期待している。

24.12.28 北陸中日新聞

新幹線金沢開業に伴う能登地域の誘客戦略について 【平成24年9月議会にて】

《質問要旨》 能越自動車道の七尾開業とともに、能登有料道路の無料化は、全国から能登への誘客拡大の好機であるが、県外への無料化PRについて聞く。

《知事答弁》 能登有料道路無料化に伴い、愛称は「のと里山海道」に決定。新しい名称を全国応募したところ、4,000件もの応募があり、全都道府県から応募があったことから、能登有料道路の無料化を全国に広くPRすることができたと思っている。来年4月1日までに観光地図やカーナビに反映されるよう取り組む。高速道路のサービスエリア等でポスターの掲示やPR用ステッカーを作成し、県外での観光イベントでPR活動も引き続き行う。無料化後も引き続きPR活動が重要となると考えており、記念式典はもとより継続したイベントが出来ないか沿線市町や関係機関、関係部局とも英知を集結し、検討していきたい。



24.5.24 北國新聞

その他、以下の質問をいたしております。

【平成24年9月議会一般質問にて】

◎ 《世界農業遺産を活用したのと鉄道の活性化》について

◎ 《のとりま水族館》について

◎ 《防災対策》について

その他、以下の質問をいたしております。

【平成24年12月議会一般質問にて】

◎ 《原子力防災対策》について

◎ 《のとりま水族館のPR》について

◎ 《七尾湾のカキ》について

能登の中核都市七尾の役割とビジョンについて【平成 24年12月議会にて】

《質問要旨》七尾市は、能登の中核都市と言われて久しく、県と七尾市との連携がさらに需要だと思っているが、新市長が誕生した今、県が期待する七尾市の役割について知事の所見を聞く。

《知事答弁》市長自身も言っていたとおり、能登有料道路の無料化、北陸新幹線金沢開業、能越自動車道の七尾までの供用開始等のことは千載一遇のチャンスである。そのためには、市民の皆様と問題意識を共有し、一丸となって目指すべき方向に進むべきである。七尾市の活性化が能登の活性化に繋がると思っている。交流を盛んにするべく、能越自動車道或いは藤橋バイパス等の基幹道路の整備、七尾港の整備と利活用、のとうま水族館の魅力アップ等を進めて欲しい。各界各層の方の力を集結し、七尾市の底力が能登を牽引していくと期待している。



七尾市広報より

人と自然が共生する社会の実現について【平成 24年12月議会にて】

《質問要旨》子ども達への環境学習を進めるための県の取り組みについて聞く。

バードウォッチング ～自然環境の大切さを感じる～



七尾市広報より大津潟での田鶴浜小の児童

《環境部長答弁》身近な自然をテーマとした環境学習の推進については、里山里海づくりを進めていくためにも大変重要で、重点戦略の一つでもあり身近な地域において自然の恵みや生活との関わりを通し、学ぶことが大切である。これまでも生きものと触れ合いや自然体験を提供する「いしかわ自然学校」の開催、特に優れた里山里海の保全に取り組む学校の認定支援、いしかわ動物園など既存施設を活用した環境学習の実施等の取組を進めており、各部局と連携し、環境学習機会のなお一層提供に努めていく。

七尾東雲高校について【平成 24年12月議会にて】

《質問要旨》来年度から総合学科が総合経営学科となり、商業色を強くした印象を受けるが、「経営」の二文字を学科名に追加した本当の意味や狙いは何か。

《教育長答弁》学科名の狙いは、来年度から新学習指導要綱が実施されることを契機に地域産業界で活躍できる人材の育成の充実を図るため系列編成を新たにし、1年次から専門科目の学習をスタートさせ、商品開発、電子商取引、食品流通等の科目も新たに設定。総合学科の特色を活かし、より専門性の高めることにしている。「経営」の二文字を加えたのは、この学科が商業などに関する基礎的、基本的な知識を備え、商業ビジネスや農業経営の諸活動に主体的に取り組める人材育成を目指している学科だと云うことを明確に伝えたいと考えたからである。



七尾東雲高校要綱より

知事 5^キ。圏外でほど近くに